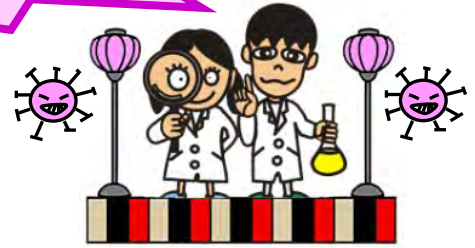


感染症に気をつけよう!

2017年【3月号】

横浜市内の感染症 流行状況

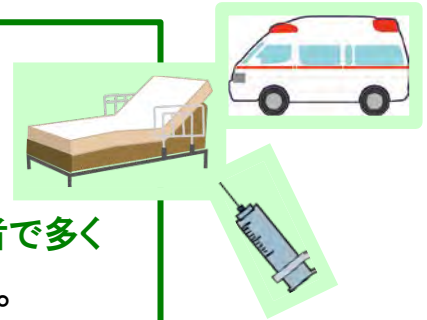


| 感染症 | 流行状況 | 説明 |
|---------------------|-------------|--|
| インフルエンザ | 大流行 減少 | 減少傾向ですが、まだ警報レベルです。 正しい手洗いと咳エチケット を習慣にしましょう。【'17.2号】【Q&A】 |
| 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | やや流行 横ばい | 昨年と同様に、全国的に例年より多い状態です。最も有効な予防方法は、 ワクチン接種 です。【'16.6号】 |

今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



- 市内の患者数は減って来ましたが、入院患者の報告は続いています。
- 肺炎や脳炎を合併したと考えられる重症の入院患者は、特に、小児と高齢者で多くなっており、重症化にも注意が必要です。



- **重症化のサインを見のがさないようにしましょう。**
 - ✓ 呼びかけに答えない!
 - ✓ 呼吸が早く息苦しい!
 - ✓ 胸の痛みが続く!
 - ✓ 症状が長引き悪化する!
- などの場合は、**すぐに受診してください。**



- インフルエンザの流行は、まだ、しばらく続きます。もし咳や熱などの症状が出たら、[咳エチケット](#)を守り、**早目に受診**しましょう。
- 他の人にうつさないためにも、無理をせず、**学校や仕事は休んでください。**

